

【草花の部屋】

アウストロキリンドロプンチア

(サボテン科アウストロキリンドロプンチア属 *Austrocylindropuntia*)

和名： 別名： 英名：

ナデシコ目 常緑多肉植物 原産地：中南米

花言葉：

花の色：黄、赤、桃



← 写真-1 アウストロキリンドロプンチア

撮影日：2019年02月24日

撮影場所：モンサラーシュ

(ポルトガル)にて

撮影者：M さん



ポルトガル東部、スペインとの国境近くの街モンサラーシュを訪れた際、駐車場から市街に向かう途中で見かけました。

ウチワサボテンの仲間。もともと高地に自生しているため寒さには強めで、ウチワサボテンらしく芒刺があるので要注意です。アレオーレ(トゲを生じる部位)が毛状に進化しているものもあるそうです。アルゼンチン、ボリビア、ペルーなどの標高

1500m～4000m ぐらい(アンデス)の高地に、碎屑砂や石の多い堆積物で構成された土壌に自生しているそうです。

自生地では蜂や蝶やハチドリによって受粉が行われるそうで、種は大きく、レアという大きなダチョウみたいな鳥が、実を食べて、その種を糞として排出していろいろ地域を広げてくれているそうです。

<ちょっと一言>

*多肉植物の中にはトゲ(状)を持つ種類がありますが、これらは表皮が変形してトゲ状になったもので、アレオーレから生じたサボテンのトゲとは質、伸び方、そして鋭さなど全く異なります。